

2017 年度省エネグループ活動報告

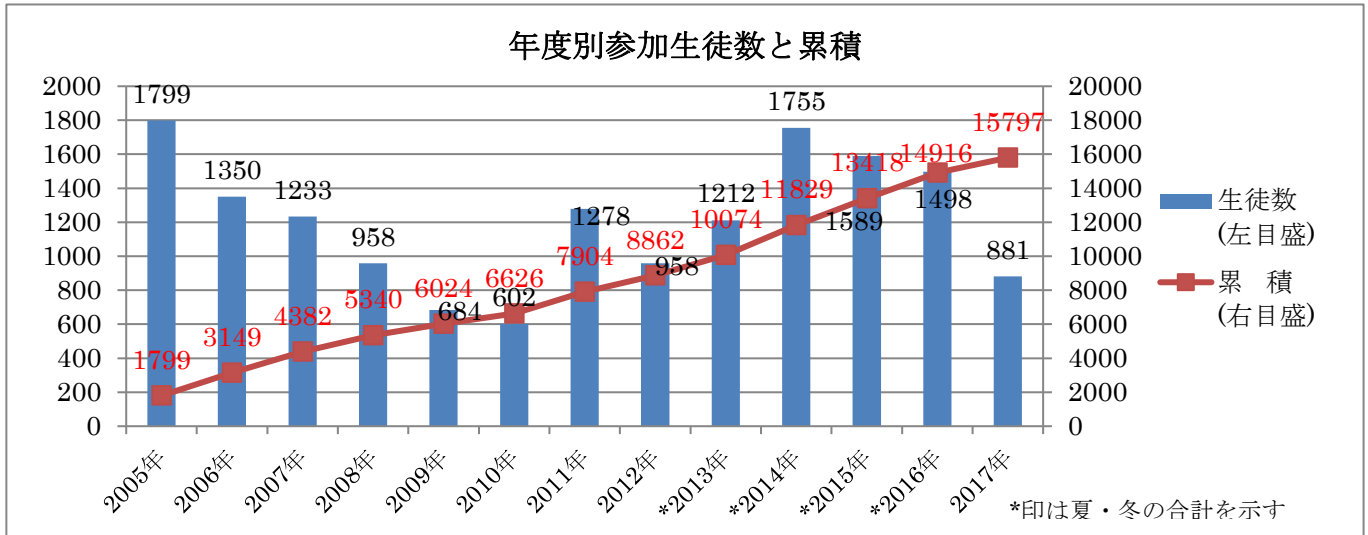
1. エコライフ・チャレンジ関係

2017 年度の実績

①夏エコチャレンジは参加校 13 校、参加児童 881 人(前年夏期比 221 人減)でした。

冬エコライフ・チャレンジは 7 校の応募(参加予定児童 870 人)がありましたが、1 月末現在 2 校、240 人が回収済みで、他の 5 校の回収依頼中です。回収が済み次第、集計および報告書を作成し 2 月末をめどに各学校に報告する予定です。

②2005 年からの参加児童の累計は以下の通りで、2017 年(夏期)までに約 15,800 人が取り組みました。



③夏エコの成果

【チャレンジ結果】 自分で選んだメニューを加えると「良くできた」の割合が、12.4%増えました。子どもたちは実際にエコライフを体験する事により地球温暖化について理解し、温暖化防止のために意識して続けていく意欲を示しています。このことは家庭内にも波及し、家族が協力して取り組むキッカケになっています。

【節電効果】 回答のありました家庭306件今年夏の電気使用量は昨年夏に比べて、合計=6,852kwh (6.3%)の増加でした。

今年の夏は7月約1ヶ月間と8月後半に暑い日が多かったため、冷房などの電気使用量は増加しました。チャレンジではカーテンやすだれの活用、扇風機との併用、涼風時の風通しをよくするなど、いろいろな工夫をこらして対処され、エアコンも熱中症など健康に留意しながら適切に使用されていました。

【二酸化炭素削減効果】 7日間チャレンジした結果、約 2,500kg-CO₂ のCO₂削減効果がありました。1人当りでは約 2.9kg-CO₂ になります。

みんなでこの取り組みを一年間続けたとすれば、約 132t-CO₂ の削減という大きな成果になります。この量は二酸化炭素を吸収する 杉の木の本数にすると、約 9,400 本分になります。

一人一人の取り組みでは成果は少ないようですが、みんなが協力して、そして継続して取り組めば大きな力になることを示しています。

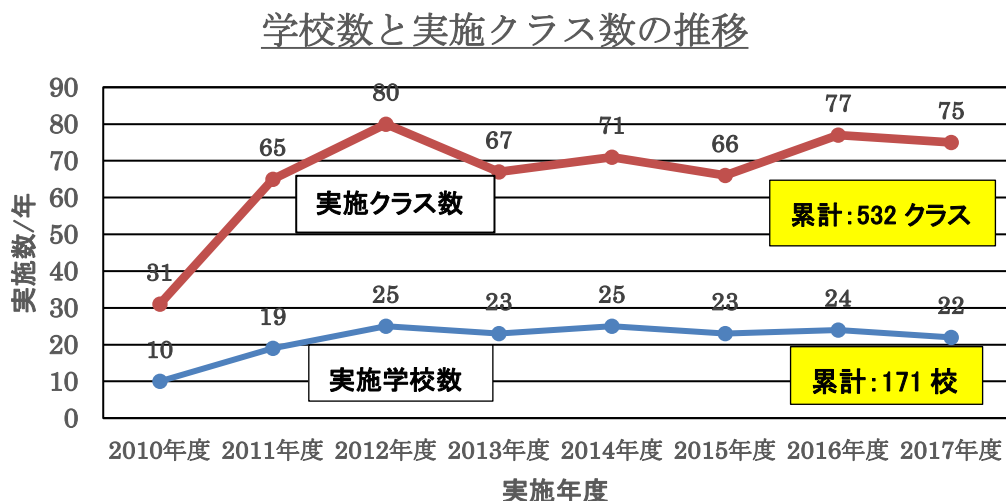
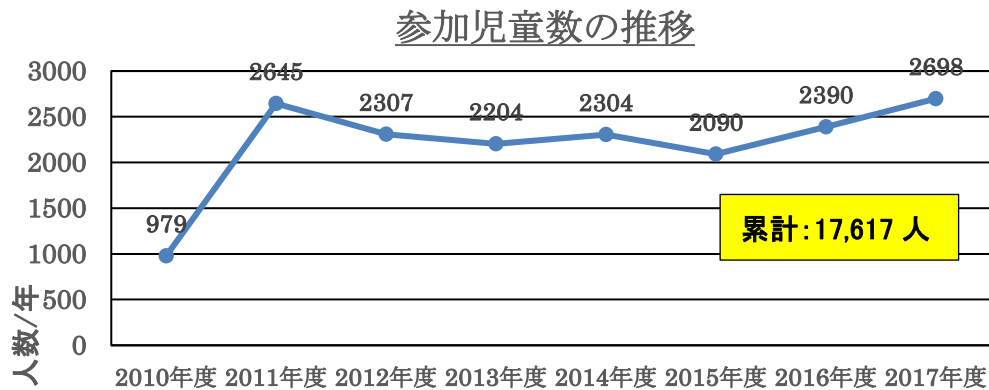
③冬季の結果は回収・集計中です。

川崎市の家庭部門におけるCO₂の排出量は2009年以降増加傾向にあり、川崎市が掲げる「環境配慮型ライフスタイルの構築」「エネルギー資源消費量の抑制等」に努めなければならないのが現状です。

2. 出前授業関係

2017 年度の実績

- ①2017 年度の実績は、主に小学 5 年生などを対象に、延べ 22 校の小学校で 2,698 名、75 クラスに実施することができました。その中で、県学校派遣事業で小倉小学校にも対応しました。既存のプログラムの内容も見直し、最新情報を取り入れリニューアルしました。また、事前打ち合わせ時に学校の希望を取り入れて一部修正・追加した学校オリジナルプログラムで実施するケースもありました。2010 年度からの実績の推移は、下記の通りです。



- ②希望されたプログラムの内訳においては、依然として「地球温暖化」に関心が高いが、昨年度・一昨年度に追加した新プログラム「水素が地球を救う」及び「省エネ・創エネ設備について」に初めて要望があり、嬉しい成果でした。これで省エネグループの全プログラムに対して出前授業を実施することが出来ました。

プログラムの実施回数は下記の通りです。

・「地球温暖化とは～見て・触れて・感じて～」	9 回	・「節電にみんなで取り組もう！」	5 回
・「はっぱはえらい」	5 回	・「水素が地球を救う」	2 回
・「エネルギーとは」	1 回	・「省エネ・創エネ設備について」	1 回

- ③更に、出前授業後に実施したアンケートを集約・分析して、報告書を作成し報告しました(アフターフォロー)。報告の際一人一人の質問への回答も説明しています。1件の出前授業に対し、「事前打ち合わせ→出前授業の実施→報告」と3回学校に行くためその労力は大変ですが、先生方からは「ここまで報告・対応いただき感謝です」「自分の質問に回答が返ってきたと子ども達が喜んでいる」等の多く

の感謝のコメントをいただき、今後の活動への大きな励みになっています。

- ④講義の内容をより深く理解してもらうように、手作りの発電体験用グッズでの体験も併用して行っています。更に、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)との協働で、「温暖化模型」、「火力発電のデモ機」を借用し体験に活用しています。

- ・実際の発電の種類と仕組みの説明、火力発電のデモ機で発電時のCO₂の排出状況を説明
- ・温暖化模型でCO₂の有る無しで温度上昇が異なることの体験

これらの体験で、省エネ・節電でCO₂削減の意識付けに大きく貢献でき、体験をしたことで温暖化防止や節電・省エネなどの講義内容の理解度が深まり、「良く分かった」「実感出来た」「節電・節水に取り組む」「家族や皆に話す」などとの声が、アンケートに多数見られ、体験の効果が高いことが十分に伺えました。

- ⑤「総合学習的な時間」で学習する「キッカケ作り」または「情報提供」の形で出前授業の要請を受けており、子ども達は、その後それぞれ課題を見つけて「調べ・検討・まとめ・発表」する学習で纏めたことを学内・地域の人々を対象に発表しています。その発表会にも、4校ほど見学できました。子ども達が生き活きとして発表する姿に感動しました。
- ⑥更に、自治会・町内会での環境学習会もセンターと共同で取り組み、大人に対して直接、節電・省エネの啓発活動に取り組んでいます。今年度は、2月24日の神木本町町内会で参加予定70名の実施回数1回の予定です。年々回数が少なくなっています。市民の関心が薄れてきているのか若干心配ではあります。

3. イベント関係(イベントチーム)

2017年度の実績

14件(予定を除く)のイベントに参画し、約1300人の参加者がありました。

企画展示の内容: 展示=活動紹介ポスター、燃料電池模型 体験=手回し発電
工作=クリップモーター作り ()内は参加者数

- ① 5/27日(土)「遊びの縁日」(川崎区・大島小学校)
 - ・主催:臨海中学校区寺子屋事業・展示・体験(約50人)、工作(20人)
- ② 6/28(火)エコクロスマッチング(CCかわさき交流コーナー)
 - ・主催:地球温暖化防止活動推進センター・展示等:ポスターセッション・参加30人
 - 6/1~30 環境月間(CCかわさき交流コーナー)に展示等で参加
- ③ 7/2(日)2017 インターナショナルフェスティバル In カワサキ(国際交流センター)
 - ・主催:かわさき国際交流民間団体交流会ほか・展示・体験、燃料電池模型(約300人)
- ④ 7/22(土) 向(向小学校)
 - ・主催:子育て支援センター・講座「節電に取り組もう」・体験:手回し発電体験(約50人)
- ⑤ 7/23(土)センター夏休み自由研究シリーズ(高津市民館会議室)
 - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター・工作(20人)
- ⑥ 7/29(土)多摩川エコミュージアムせせらぎ館夏休み教室(せせらぎ館)
 - ・主催:NPO多摩川エコミュージアム・工作(2人)
- ⑦ 8/4(月)夏休み!多摩区エコフェスタ2017(多摩区役所)
 - ・主催:多摩区エコロジーライフ事業・工作(10人)

- ⑧ 8/20(日)生田緑地サマーミュージアム(生田緑地)
 - ・主催:生田緑地運営共同事業体
 - ・展示等:手回し発電、燃料電池模型(約 200 人)、はっぱはえらいゲーム
- ⑨ 9/2(土)「科学とあそぶ幸せな一日」(KO新川崎キャンパス)
 - ・主催:慶應義塾大学&幸区
 - ・展示・体験(約450人) ・工作(15人)
- ⑩ 9/17(日)まなぼう! あそぼう! COOL CHOICE ひろば(ラゾーナ川崎)
 - ・主催:川崎市、東芝未来館、三井不動産
 - ・展示・体験(約 250 人)
- ⑪ 9/23(秋分の日)自主活動(早野聖地公園)
 - ・展示・体験(約30人)
- ⑫ 10/8(日)環境エネルギー・ラボ 2017(二子玉川ライズ 東京都市大夢キャンパス)
 - ・主催:環境エネルギー・ラボ実行委員会
 - ・展示・体験(30 人) ・工作(22 人)
- ⑬ 11/12(日) フェスタ'16 生涯学習センター学園祭
 - ・主催:川崎市生涯学習センター
 - ・展示等:省エネグループポスター掲示、手回し発電体験、燃料電池模型展示(30 人)
- ⑭ 12/16(土)第5回川崎環境フォーラム(高津市民館、キラリデッキ)
 - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター
 - ・展示等 ・工作(17 人)

2~3月の予定

- ⑮ 2/1~2(木・金)国際環境技術展「見学」(等々力アリーナ)
- ⑯ 2/10 (土) 第 15 回エネルギー・環境子どもワークショップ「参観」(大戸小学校)
- ⑰ 3/21(春分の日)地球温暖化防止自主活動「展示」(早野聖地公園)

4. 企画チーム関係

2017 年度活動実績

①省エネグループ主催第 4 回公開講演会の開催

講師: 牛山 泉氏 足利工業大学理事長

演題 「風力発電の現状と展望」この分野の第一人者

開催期日 2018 年 2 月 12 日(土)14-16 時 月曜日(祝日)

会場 高津市民館第 5 会議室 定員 40 名

参加者 35 名 + α

②第 5 回環境フォーラム(2017/12/16 開催)の環境絵画展の作品募集活動に今年も 1 役

昨年に続いて今年も出前環境授業先で応募協力活動を展開。最終的には 4 校約 320 点の応募中、省エネグループ担当分の宮内小・西丸子から 215 枚の作品の応募を得た。全作品展示と当日の入選者表彰で盛会裏に終わった。

③今年も環境行政の方をお迎えして語る会を企画

地球環境推進室 協働担当課長 宮川 潔氏

→ 推進室行政全般と特に環境出前授業に期待すること

開催期日 2018 年 3 月 22 日(木) 18-19 時の 1 時間

会場 於かわさき市民活動センター会議室

5. 広報関係

2017 年度実績報告、

- ・省エネグループ通信 第 13 号(発行日 2017 年 11 月 01 日)
上期の出前授業・イベント・エコライフチャレンジなど活動報告
1000 部印刷して環境局(学校配布分含む)・区役所・市民館に配布
- ・省エネグループ通信 第 14 号
公開講演会の内容を中心に発行予定
1000 部印刷し、従来同様に配布する。

以上